



Banco MUFG Brasil S.A.
Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

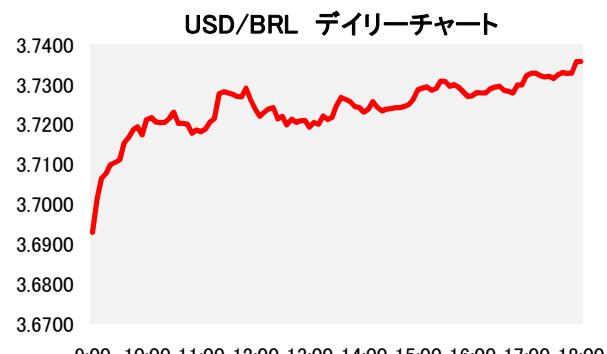
1. マーケット・レート

			7月31日	8月1日	8月2日	8月3日	8月6日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7570	3.7500	3.7500	3.7070	3.7360	+0.0290
	BRL/JPY	Spot	29.770	29.790	29.77	30.01	29.82	-0.19
	EUR/USD	Spot	1.1693	1.1660	1.1586	1.1568	1.1553	-0.0015
	USD/JPY	Spot	111.83	111.73	111.63	111.25	111.41	+0.16
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	6.735 7.401	6.735 7.396	6.774 7.416	6.780 7.424	6.759 7.414	-0.021 -0.010
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	3.486 3.861	3.470 3.866	3.447 3.863	3.507 3.870	3.570 3.967	+0.063 +0.098
株式	Bovespa指数	79,220.44	79,301.63	79,636.69	81,434.98	81,050.75	-384.23	
CDS	CDS Brazil 5y	214.65	215.71	216.68	213.14	212.84	-0.29	
商品	CRB指数	194.530	191.641	192.651	193.235	193.930	+0.70	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

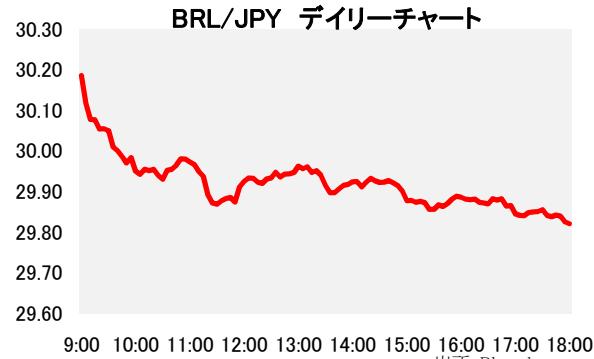
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
自動車生産台数(伯自工会)	--	245821	256305
自動車販売台数(伯自工会)	--	217509	201982
自動車輸出(伯自工会)	--	51358	64910
貿易収支(週次)	--	\$362m	\$648m



3. 要人コメント

なし	
----	--



4. トピックス

- 本日のレアルは3.7070で寄り付き、直後に日中高値3.6930を付けた。その後、好調な企業決算や原油高を背景に米国株式相場が続伸する中、ドルが主要通貨に対して上昇。レアルは3.72台へ反落後、取引終盤にかけてじりじりと値を下げた。結局、日中安値となる3.7360でクローズ。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が1.50%、2019年は2.50%でそれぞれ据え置かれた。インフレ率予想は2018年が4.11%、2019年が4.10%で据え置き。年末の為替レートについても2018年、2019年ともに3.70で据え置かれた。
- 国内の大統領選挙に関して、前週末までに主要な候補が各政党の党大会で大統領候補に選出された。労働者党(PT)では元大統領のルラ氏が候補に選ばれたが、同氏は汚職の罪により収監中。第二審で有罪判決を受けたことから規制により立候補出来ないものと見られている。
- 先週3日夜に発表されたサンパウロ州のみを対象とした大統領選に関する世論調査において、改革に前向きなことから市場に好感されているアルキミン候補が、初めてボルソナロ候補を支持率で上回った。但し、同氏への支持拡大が全国に拡がるかを見極める必要がある状況下、市場では特段の反応は見られなかつた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対する意図しておらず、また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図していません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。